

作業療法 だより

毎日厳しい暑さが続いてお
りますが、いかがお過ごし
でしょうか？今回の作業療
法だよりでは、入浴福祉用
具について簡単にご紹介さ
せて頂きます。

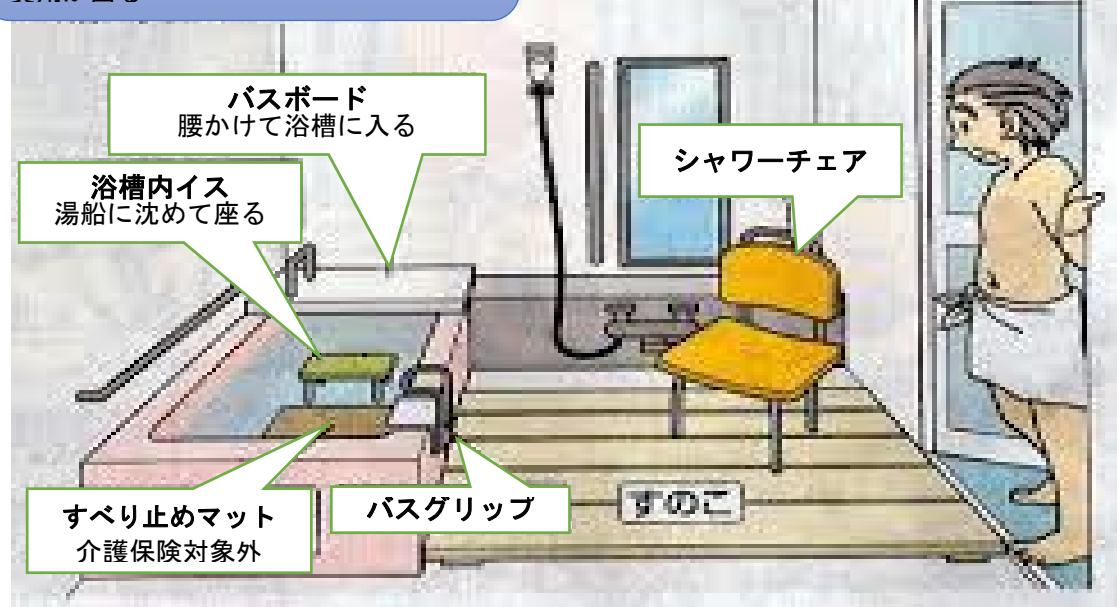
入浴福祉用具の紹介

障害や老化のために歩くのが難しくなってくると、多くの場合、「もう家のお風呂には入れない」と思いがちです。しかし、できる範囲で工夫して、自宅でお風呂にはいれるよう福祉用具の利用すると、介助が格段に楽になったり、転倒予防になったりします。

(*実は自宅での事故は浴室が一番多いのです。)

入浴を支える福祉用具の例

介護保険制度で、要支援以上なら、年間10万円（自己負担1～2割）まで購入費用が出る



① シャワーチェア



② バスボード



- ① バスチェアは座面が高さ調節でき、立ち上がりやすく、介助もしやすく、
- ② バスボードは浴槽に渡して設置し、座って浴槽に移動できます。
- ③ バスグリップを持つと浴槽がまたぎやすくなります。
- ④ 浴槽内イスを沈めておくと浴槽内の立ち座りが楽になります。

③ バスグリップ



安心・安全



④ 浴槽内イス・・・その他



★福祉用具はその人の体や用途にあったものの検討が必要なことも多く、また介護保険などの利用も可能です。詳しくは担当の介護支援専門員やリハビリスタッフまでご相談ください。